

麻生区区民会議 第9回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成25年6月11日（火）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所第5会議室
- 3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]
村主委員、高倉委員、高瀬委員、田中委員、長谷川委員、吉田委員
（加賀美委員、梶委員、久保倉委員、横山委員は欠席）
[事務局]
鈴木企画課課長、白石担当係長、佐伯、小田
- 4 傍聴者：なし
- 5 議 事

(1) 調査審議課題の具体的検討について

① モデル事業について

(モデル事業対象地区の公募について)

【説明事項】

事務局から資料1-1について説明。部会長から、これまでの経緯について説明。

- ・ 区民会議全体会でモデル事業の対象地区の公募について説明したところ、広く区民に回覧するためには麻生区町会連合会（区町連）の協力を得るべきとの意見が地域振興課長からあり、区町連理事会に出席して募集ちらしの配布・回覧を依頼することとなった。
- ・ 区町連理事会当日（5/22）、部会長（事務局同席）がモデル事業の対象地区募集の広報依頼に関して説明したが、回覧に関しての時期や複数の町会自治会から応募したのに選ばれない場合の各家庭への説明責任などに関する意見があり、回覧については応じていただけないこととなった。また、同日、出席して説明する予定だった自主防災組織役員会は区町連とメンバーがほぼ同じであることから、説明を取りやめた。
- ・ 地域振興課と企画課で協議し、区町連がモデル事業候補地区を選定。6/8に候補地区である万福寺町内会の班長会で2グループの募集について説明した（事務局対応）。手が上がったグループを区町連として推薦することになった。

【主な意見】

- ・ モデル事業対象グループの決定は部会で行う。部会として望む要件等に適合するかどうか重要。
- ・ 区民に対して、モデル事業対象グループの選定の公平性・客観性を説明できるよう、何らかの形で公募の形は必ず取る必要がある。

【決定事項】

- ・ 区町連からの推薦期限は6/28。それを踏まえて、公募は7月から行う。
- ・ 公募は、区ホームページ、地域メディアなどで行う。

(モデル事業の実施に向けて)

【説明事項】

事務局から資料 1-2・1-3 について説明。

部会長から、モデル事業の施工協力事業者について説明。

- ・ 明治大学園田教授から紹介のあった施工業者（他区）にどのような体制で事業を進めるかの相談をし、業者からの提案を待っている。
- ・ 区内施工業者への声かけを含めて、モデル事業を通じて地域での防災対応ネットワーク構築を視野に入れて進めていく。

【主な意見】

- ・ 園田教授からの事業への助言、支援業者からの提案などを考慮してモデル事業のフレームイメージを固める必要がある。
- ・ 安くても効率の良い方法、施工に関わる人員はシルバー人材センターなどを活用する検討も含めて行う。

【決定事項】

- ・ モデル事業の進め方を活かして、地域での防災に関する体制づくりにつなげる。
- ・ 園田教授との打合せ、支援業者からの提案を受けて、検討・協議を進め、7月の部会での報告を目指す。

② 区民会議フォーラムについて

（フォーラムの講演について）

【説明事項】

事務局から、資料 2-1 について説明。

東京大学目黒教授からフォーラムにおける講演の了解を得た旨の報告。

【決定事項】

- ・ 9/7（土）15:00 頃からの講演で予定。（今後は秘書の方との細部調整が必要）
- ・ 関係資料については教授にメールで送付する。
- ・ 今後の交渉は事務局が担当する。

（フォーラムにおける展示などについて）

【説明事項】

事務局から資料 2-2 について説明。

【決定事項】

- ・ 防災関連情報や園田教授研究室の成果などを展示するブースを設ける（教授に打診する）。
- ・ 防災関連 NPO の協力によるグッズや家具固定の器具などの展示も検討する。

（フォーラムに関する今後の対応などについて）

【説明事項】

事務局から資料 2-3・2-4 について説明。

【決定事項】

- ・ 区民会議委員に当日の役割があるため、予定しておくこと。
- ・ 当日の司会は高倉副部会長が担当。その他の担当を今後決めていく。
- ・ 園田教授に講演の依頼を行う。
- ・ 区民会議ニュース（7月発行）でフォーラムの広報を行う。

(2) その他

第10回安全安心部会：平成25年7月9日（火）15:00～

以上